会　議　録

会議名		平成 27 年度第 3 回八王子市博物館協議会
開催日時		平成 27 年 12 月 15 日(火)午後 6 時 30 分～8 時 40 分
開催場所		八王子市郷土資料館集会室
出席者	委員	小野一之、大村のり子、柿﨑博孝、佐藤栄子、佐藤一、田野倉宏和、藤岡換太郎、本田怜子、吉田幸子　　(50 音順)
	事務局	牛山清志こども科学館長、中正由紀郷土資料館長（文化財課長)、森融こども科学館専門幹兼主査、尾崎光二郷土資料館担当主査、中村善行郷土資料館担当主査
欠席者		山中幸生
議　題		協議事項 １．新郷土資料館基本構想（案）について ２．平成 27 年度八王子市こども科学館及び郷土資料館事業（4～11 月期）実施状況について ３．その他
公開・非公開の別		公開
傍聴人の数		なし
配付資料名		会議次第 平成 27 年度　こども科学館事業実施状況（平成 27 年 4～11 月分） 平成 27 年度　郷土資料館事業実施状況（平成 27 年 4～11 月分） 新郷土資料館基本構想（案）について

会議の内容 （要旨）	新郷土資料館の整備について前回の会議の時及び後日各委員から提出のあった意見と今後の進め方について郷土資料館尾崎主査から説明。また整備に関わる八王子医療刑務所移転後用地活用計画（素案）については現在実施中のパブリックコメントを中心に中正郷土資料館長から説明。 尾崎主査　前回の博物館協議会では平成 29 年度に市制 100 周年、郷土資料館開館 50 周年を迎える機会に「八王子市郷土資料館建設基本構想」を公表したいと考えていること、平成 28・29 年度で基本構想・基本計画を作成するために市の実施計画や予算に反映させるべく要望を提出していると説明しました。その前段階として基本構想の検討の土台となるものを作成するため、平成 13 年度に作成した新八王子市博物館建設基本構想案を基に協議会の会議と会議終了後にメール等でご意見をいただきました。 主な内容としましては郷土資料館が「目指すべき方向」、「基本理念」、「使命」が重要であるといった博物館設置の理念や設置目的という視点からのもの、「八王子城跡」、「滝山城跡」、「高月城跡」、「空襲・戦争」、といった『八王子の歴史』に関すること、「高尾山」、「陣馬山」、「多摩丘陵」、「浅川」といった『八王子の自然環境』、「桑都」、「絹の道」、といった『産業』に関すること、八王子の特徴を活かした「自然と歴史」や「観光的な要素」を組み合わせたものなど八王子に根差したテーマが重要であるといった博物館活動の根幹にかかわる視点からの意見。「学校教育・総合学習」、「生涯学習」といった『教育普及・学習支援』「ひととのかかわり」、「市民参画・市民協働」、「観光課など他部門との連携」、「小田原市など後北条氏と関係する自治体との連携」、「観光の要素」といった『人の交流』、『市民参画』、『連携』という視点からまとめられたものをいただきました。また、具体的な目標・キーワードとして「くつろげる博物館」、「市民の憩いの場」、「グローカル」、「フィールドミュージアム」、という提案もありました。 さまざまな要素がある中で、基本構想を策定するためにやるべきことは、博物館の「使命」を明らかにすることであると再認識しました。具体的な事業について詳しいご提案もい

		ただきました。「自然と歴史」を組み合わせた博物館という意見も挙がっていましたが、歴史系の博物館・郷土資料館の建て替えという方向で検討を進めていきます。これは、前回の協議会の後に、都市計画部が作成しているＪＲ八王子駅南側にある「八王子医療刑務所（平成 29 年度に移転予定）の移転後用地活用計画（素案）」中で、新たに導入する拠点施設として「歴史・郷土ミュージアム」が示され、市としての方向性が打ち出されたからです。なお、活用計画素案については、12 月 1 日からパブリックコメントが実施されています。活用計画策定の経過については、中正郷土資料館長から説明します。
	中正館長	こちらの計画につきましては八王子市の都市計画部都市総務課が事務局となり進めているところでございまして、平成 29 年度以降に移転が予定されている八王子医療刑務所の移転後用地を取得し、活用する方針となっています。活用方針としまして本用地は市の中心駅である八王子駅から徒歩圏の大規模用地で、まちづくりの核となる用地であることから地域の活力・魅力の創出に向けた活用を図ります。用地の活用にあたっては「QOL が高まること」、「家庭や職場と異なる第三の居場所（サードプレイス）を提供すること」を目指します。また施設コンセプトの中で八王子の歴史と未来をつなぐ結節点、誰でも気軽に立ち寄れる空間（居場所）、まちの価値を創造するパブリックスペースが謳われていましてその導入施設の中に次の 100 年につなげる「歴史・郷土ミュージアム」（現郷土資料館の機能を移転する新しい郷土資料館）が挙げられております。この計画について市民のみなさんからのご意見をいただくというのが今回のパブリックコメントとなります。来年 1 月 4 日まで実施する予定となっております。
	小野会長	只今、尾崎主査と中正館長からご説明いただきましたが、今回は新しい郷土資料館の建設計画が一気に進んだ感じがします。今度の新郷土資料館は歴史に特化したものということで計画には挙げられていますが、それ以外については前回のご意見を出し合っていただいていた内容状況と変わっていないようです。事務局から意見をまとめて発表していただきましたが、他にご意見がある方、これだけは伝えておきた

	いといったことがある方はご意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。 尾崎主査　先ほどの説明について補足いたします。前回吉田委員からご質問があった新施設の規模についてですが、こちらは全く未定でございます。 本年9月まで開催していた特別展「戦後70年　昭和の戦争と八王子」で市民のみなさんからいただいたアンケートでは展示資料数は適切であるというご意見を多数いただきましたので、特別展の展示スペースにつきましては同様のスペースを確保したいと考えております。収蔵庫のスペース等も検討していくわけですが、近隣ですと府中市郷土の森博物館と同規模のものを目標にしていきたいと考えております。 小野会長　今回の計画は都市計画部都市総務課が主体となって進めているということですが、博物館協議会としてはこの計画について新たに意見を提案する形でいいのか、あくまで平成13 年度の郷土資料館運営協議会で審議された基本構想案に内容を上乗せしていく形がいいのか、その辺りはいかがでしょうか。 尾崎主査　今回ご説明した医療刑務所跡地の活用計画は用地面積5.3ha を国から譲り受けた後で八王子市としてどのように活用していくかを示すものです。郷土資料館は教育委員会の所管として新しい施設の建設計画について検討していたところにこの計画が立案されたので、今後はこちらもその計画の一部として話し合いを行いながら、建設計画に取り組んでいくことになります。委員のみなさんには今後博物館として取り組む上で最も重要な博物館の使命についてのご意見を今年度中にいただきたいと思っております。 小野会長　今年度中ということですと次回の会議では使命(案)を提出する形にしないといけないと思いますが、協議会委員でまとめるのか、事務局でまとめるのか、その点はどう考えていますか。 尾崎主査　残された時間も少なくなっておりますので、先日みなさんからいただいた意見をもとにしまして、事務局で案を作成いたします。それに対してみなさんからご意見をいただき、まとめる形にしたいと思います。先日いただいたご意見の他に追加でご意見やご質問のある方は発言をお願いいたします。

	小野会長　　博物館の使命というのは活動目標という位置付けのもので、具体的に目指すものになります。先日みなさんからいただいた意見の中では「グローカル」という言葉が該当します。 尾崎主査　　今回の都市総務課で作成した計画では人が集う場所というコンセプトが挙げられていますので、みなさんからいただいた意見に近いものと考えています。市の教育基本計画の中でも八王子に対する郷土愛を育むということを目的としており、郷土資料館はそのポジションを与えられています。このようなことも使命のポイントに含まれるのではないかと思っております。それを歴史に結びつけるために郷土資料館は 10 万点を超える資料を所蔵していることから基本的な設備を充実させ、市民が歴史理解を深める場として新しい郷土資料館が目指すべきものを明らかにしていきたいと考えています。次回の会議前に事務局がみなさんからいただいたご意見を「使命」としてまとめたものをお送りして会議時にご意見をいただく形にしたいと思います。 本田委員　　本日の午前中に開催された「八王子医療刑務所移転後用地活用計画」の素案説明会に出席しました。平成 13 年度の基本構想案ですと子どもがなおざりにされている気がしました。八王子ビジョン 2022 にもあるとおり、「八王子市民であることの誇りを持ってもらう」というのは子どもに対してではないかと考えていまして「八王子の歴史を次世代に継承し～」というキーワードが本計画の中に出てきますので、もう少し子どもが八王子の郷土史に触れることができる場所を作ること、今よりも誇りを持てるような要素を新しい施設の使命に加えていただけたらいいと思っています。それから八王子の歴史に誇りを持つための展示方法について自分なりにいろいろ考えてみたのですが、特別展「戦後 70 年　昭和の戦争と八王子」の中で、アメリカの B29 爆撃機が爆弾を投下して、それが今の八王子消化器病院の附近だったことを示す資料が展示されていました。今まで歴史を勉強していて爆弾を投下したことは知っていても、具体的にどのように投下されたのかという点については知らなかったので展示を見ることで土地勘もわかり、学ぶことが楽しくなりました。八王子の郷土史に触れながら、日本史全体の歴史を体感できるような空間を作ってもらえたら子どもも楽しみながら郷土

	史に興味を持ち、誇りをもてるようになるのではないかと思いました。 藤岡委員　前回の会議では具体的な建設場所についての説明がありませんでした。場所が分かっていれば施設に対する考え方も変わってきます。複合施設ということであればその使命も変わってきます。会議では以前から入館者について高齢者の割合が高く、子どもの入館者を増やすためにどうしたらいいかという話が出ています。新しい郷土資料館の敷地内に縄文時代の遺物を埋めてみることですとか、そういった場所についてもいろいろ考えてみたいと思います。柿﨑委員から出された意見にあったように絹の道資料館や八王子城跡ガイダンス施設といった関連施設とどのように提携していくかも考えなくてはいけないと思います。新しい郷土資料館の建設場所はここで決定ということで考えていいのでしょうか。 中正館長　今後パブリックコメントの結果を踏まえ、問題がないようであればこの計画どおりにこの場所に建てるということになります。 藤岡委員　そうなるとあとは土地の面積や規模が決まり次第ということですね。 中正館長　土地の形状も独特ですのでその点も考慮する必要があります。 小野会長　只今の藤岡委員の意見に関連して確認しますが、このエリアとしては多機能施設だと思いますが、本協議会としてはその中で博物館機能について考えていけばいいのでしょうか。 尾崎主査　今回の計画では今までの博物館（郷土資料館）に求められていなかったものが求められており、サードプレイスとしての位置付けになるので今までになかった新しい考え方を導入する必要があると思っています。 柿﨑委員　今後の話の進め方について質問ですが、博物館協議会で使命を作っていこうとお話ですが、博物館立ち上げの際には設立準備室を設けた上で具体的な作業に入っていくものと考えていますが、今回はどのような工程で進めていく予定でしょうか。 尾崎主査　教育委員会として現在新郷土資料館の整備について来年度予算要求を行なっております。予算が認められますと新郷土資料館の基本構想・基本計画について平成 29 年度までに

	作成することになりますが、その過程で新たな検討会を作りその中でご意見をいただくことになります。 こちらで考えていますのは検討会で話し合った内容について博物館協議会に随時報告し、ご意見をいただくという形を考えています。 柿﨑委員　その作成にあたってもパブリックコメントを導入すべきではないでしょうか。 尾崎主査　新郷土資料館の基本構想を作成していく過程でパブリックコメントを実施する予定です。 大村委員　八王子医療刑務所移転後用地活用の全体計画について検討が行なわれているとのことでしたが、博物館協議会ではこの中に入る歴史・郷土ミュージアムについてだけ検討するということでよろしいのでしょうか。 尾崎主査　基本的にはどのような郷土資料館にしていくかについて考えていただくことになりますが、ビジョンとしてはこの計画に示されているものを前提としていただくことになります。 大村委員　私はこの配付資料の中にある将来イメージ『学びと交流が次の 100 年をつくる「まちに開いた新たな集いの拠点」』について、この文言に「歴史をとおして」のようなものを加えればこの用地の活用の考え方としてもいいと思います。 佐藤一委員　前回委員のみなさんから意見としてまとめていただいたものを送っていただきました。そして今回のこの計画を提示されて使命について意見を求められても即答はできないので、ある程度の時間をいただきたいと思います。それから各委員からの意見を提出したものをまとめるだけでは意味がないように思います。委員の間で検討する必要があります。もしそのような意見が必要ということであれば、意見を集約して博物館協議会の意見としてまとめる場所と時間を設けてほしいと思います。そのようにしてまとめあげたものを使命として提案するという形が望ましいと考えます。 藤岡委員　今回の用地活用計画というのはこの用地を国から譲渡してもらうために作成したものですよね。新郷土資料館の建設計画との関連はどうなっているのですか。 尾崎主査　用地活用計画と新郷土資料館の建設計画というのは同時

	に進めていくものです。以前は新郷土資料館の移転先について決定がされない中で新郷土資料館について内部で検討してきたわけですが、今回の用地活用計画の中で歴史・郷土ミュージアムという形で組み込まれることになりました。しかし、この計画では次の100年につなげる「歴史・郷土ミュージアム」（現郷土資料館の機能を移転する新しい郷土資料館）とありまして、単に移転するだけではなく今までになかった新しい役割を求められているということですので大変難しいと考えております。 佐藤栄委員　そこに博物館の使命や理念などの視点から新しい要素を盛り込んでいく良いと思います。 藤岡委員　今のお話からすると、佐藤委員のご意見の中にネットワークシステムの構築など今までにない体制をつくることが書かれてありますね。この用地を確保することができれば、こうした具体的な意見を盛り込んでいけばいいと考えます。 佐藤栄委員　先ほど新しい資料館は歴史に特化するというお話が出ましたが、自然を歴史的に見ることもあると思います。自然と人間を切り離して考えることはできないわけですから、特化するという考え方ですと逆に視野が狭くなるという気がします。 尾崎主査　特化するというのはサイエンスとは違うという意味でお話したのですが、確かに自然と切り離せないというのはおっしゃるとおりだと思います。八王子には7月に開館しました高尾 599 ミュージアムという施設が自然科学系について触れているので、郷土資料館では主に歴史について触れていくということになります。歴史を取り扱っていくなかで森林や川について考えていくということは十分にあり得ることだと考えています。 小野会長　佐藤栄委員がおっしゃったように歴史をそのような視点から見ていくということについては賛成ですし必要な事だと思います。最近の歴史学の分野では環境史というものがあり、自然災害の歴史というものも取り上げられてきていますから重要なテーマでもあります。また、逆に自然分野でも都市の中の自然という形で捉える傾向にあると聞いておりますので大変いい傾向だと思います。

	柿﨑委員　　歴史とか自然というようにあまり狭く考えずに、郷土というテーマで考えていけたらと思います。 佐藤栄委員　　近年ホリスティックなものの見方が重視されていますね。全体的・総合的な視点から物事を見ていこうという考え方ですが、分野別の視点で見るというのはこれまでの伝統的な考えのように思います。 吉田委員　　医療刑務所の跡地に新郷土資料館が移転するというのは大きなニュースでよかったと思います。活用計画（素案）にある『次の 100 年につなげる「歴史・郷土ミュージアム」』と『学び・交流・集いを促進する「憩いライブラリ-」』いうのは同じ括りにしてもいいように思います。「新しい郷土資料館」とは市民の参画についてどう考えていくかということがポイントになると思います。 高尾 599 ミュージアムでのプロジェクションマッピングを見学した時に周囲にいたみなさんは自然に拍手を送っていました。これはみなさんが地元八王子を応援していることの現れだと思います。前に国土交通省と八王子市教育委員会共催の甲州夢街道絵画コンテスト（2005～2009 年）で私たちの町八王子の夢街道を市内の小中学生が絵で表現しました。八王子は海がないので甲州街道を海までつなげたり、自然豊かな八王子の作品が多数出品されました。高尾 599 ミュージアムでも自然の展示があって、八王子のよさを展示する場所が増えてきたということは大変な進歩だと思います。 コンセプトについては大きな柱立てにして示した方がかえって伝わりやすくなると思います。それぞれの人がいろいろな思いを感じてくれればいいと思います。ぜひ、コンセプトは 2 つぐらいにまとめてほしいと思います。 小野会長　　これは都市総務課が作成した計画ですから、われわれでこの公園以外の部分について話し合いできるようにしていきましょう。 田野倉副会長　この計画はいいと思いましたが、用地取得を念頭に置いているためか防災機能を持った公園も含まれていて少し欲張りすぎのような印象を受けました。防災機能については別の場所でもいいと思います。これだけの施設が 3 つもあるとすると来場者用の駐車場も確保しなくてはなりま

	せん。先ほど話題に出ました高尾 599 ミュージアムは駐車場がありません。附近の駐車場に停めると費用が結構かかります。駐車場がないのはとても不便です。今回の計画の場所は立地条件、駐車場を確保してほしいです。場所的に広いようで結構狭いので、大きな博物館を建設するということであれば防災機能のある公園は別の場所に移してもらった方がいいと思います。 藤岡委員　　都市総務課が考えている防災機能を持った公園というのは具体的にどのようなものを考えているのですか。 中正館長　　活用計画（素案）にありますように「大規模災害時には駅周辺滞留者等の一時的な避難場所や災害支援活動の場となる」というようなことを想定しています。具体的なものについては今後この案でいいとなってから作成すると思いますが、現時点ではこういったイメージでお示ししているところだと思います。 田野倉委員　　子安町にある市営住宅の跡地をそういった場所にするといいと思うのですが、医療刑務所跡地にこだわる理由があるのでしょうか。 藤岡委員　　ここに災害体験できるような施設を作って、博物館と連携を図っていくようなことを考えているのでと思ったものですから質問しました。中正館長がお答えになったようなものであれば、何もこの場所ではなくてもというような感じがします。 佐藤栄委員　府中の郷土の森博物館に何度か行ったことがあるのですが、防災に関係していることかどうかわかりませんが、確かに季節によって咲く花も違っていて憩いの場になっていて大変癒されますし、博物館があって歴史の勉強ができます。 今回の計画案を見て府中郷土の森博物館のことが思い浮かびました。このキャッチフレーズは用地を取得するために掲げたものですか。 尾崎主査　　防災公園についてご質問が続いていますが、まちづくりのビジョンとしてひとつには八王子にはオープンスペースとい うものがありません。東日本大震災が起こった際も周辺の学校施設や市の施設も避難する人で溢れてしまいました。まちづくりの計画の中では一時的に滞在可能な広い避難場所を

	確保することになっています。おそらくこの場所にできる施設の見た目は都市公園のような形になると思います。 他にも市民の方が活動できるようなスペースとしての利用も考えられますが、具体的なものにつきましては今後検討していくことになります。このスペースの中で賑わいを作り出す一翼を担う施設として新郷土資料館が位置づけられています。今までは具体的な建設場所というのは決まっていなかったのでわれわれとしては大きな前進と考えています。先ほど吉田委員からお話が出ましたように、憩いのライブラリーも同じような位置づけではないかとのことでしたが、それぞれの計画をうまく結びつけながら交流の場を作り出すことができるように検討していきたいと考えています。こちらとしましては郷土資料を地域に根ざした活用するという基本を押さえた上でこの計画を進めていきたいと思っています。 藤岡委員　防災計画というのはこの一画だけで考えてもうまくいくものではありません。この場所は防災機能も持っているという解釈でいいですね。 尾崎主査　そのとおりです。まちづくりの観点としてはこの場所に防災機能を確保し、さらに人が集まってくる憩いの場所を設け、その中に新しい郷土資料館があるといったイメージです。そうなりますと現郷土資料館を単に建て替えるのではなく、新しい性格をもった施設でなければそのイメージを実現することは難しいと考えている次第です。 大村委員　今回の計画は事前に郷土資料館に相談なく作られたものなのでしょうか。 中正館長　都市総務課から郷土資料館に対して、今後どのような施設を作るつもりなのかという問いはありました。ただその回答をそのまま使用したわけではなく、今回の計画でありますように医療刑務所跡地の移転に合わせたイメージの中で作られているものです。 佐藤一委員　計画中にある「憩いのライブラリー」というのはアクティブラーニングであり、今までの図書館のイメージとは異なるものです。現在の図書館ではアクティブラーニングが基本になっています。今回の計画ではこのことを踏まえた新しい空間をイメージして提案がなされたのではないかと想像しています。

	小野会長　ではみなさんからもいい意見をいただき、新郷土資料館の構想を作るのは大変だと思いますが、よろしくお願いします。使命の点については尾崎主査から熱いご意見をうかがったのでいいと思いますが、地域のアイデンティティを形成するための機能、地域のコミュニティを図るための拠点づくり、この2点を博物館という専門的な機能を通じて実現していくというところだと思います。あとひとつ忘れてはならないのがランニングコストのこともきちんと提言していかないといけません。ただハコモノを作るというだけですとそこで終わってしまいますから後先のことを考えた上で進めていただきたいと思います。 引き続き平成27年度八王子市こども科学館事業（4～11月期）事業実施状況について森こども科学館専門幹兼主査から、引き続き平成27年度八王子市郷土資料館事業（4～11月期）実施状況について八王子市郷土資料館中村主査から説明。 小野会長　それではただ今の両館からの報告につきましてご質問等があればお願いします 佐藤一委員　郷土資料館の報告資料の中にある「図書閲覧」は資料館でどれくらいの資料があってどのような方法で調べることが出来るのでしょうか。 中村主査　　郷土資料館の閲覧コーナーに収蔵されている図書について、歴史を調べる方が来館して資料館の学芸員に質問・相談していただくという方法です。 佐藤一委員　ある歴史の事柄について調べたいと思って来館された方が自分で調べる方法というのはないということですか。 中村主査　　来館者が直接検索できるシステム環境は整えておりませんので、学芸員が直接対応しているというのが現状です。 佐藤一委員　そこを本来であれば閲覧コーナーに図書検索システムを整理し、郷土資料館にはこれだけの蔵書があるということを資料館だけでなく中央図書館等でも検索できるようなデータベースを作るべきではないでしょうか。以前から図書閲覧についてずっと気になっていたのですが、こうした点が利用率にも影響しているのではないかと思うので、改善していってほしいと思います。

	小野会長　　新郷土資料館の課題にもなりますね。 中村主査　　はい。おっしゃるとおりだと思います。 田野倉副会長　こども科学館の 8 月の入館者数がだいぶ減少しているようですが原因は何かわかりますか。 森専門幹兼主査　天気の良い日が多かったことが原因のひとつとして考えられます。 牛山館長　　実施するイベントの内容を変更したのでその影響があった可能性もあります。 小野会長　　ではその他事項に移ります。報告のある方はいらっしゃいますか。 牛山館長　　こども科学館のリニューアルについてご報告します。計画から設計に移っていますので構想等の段階で委員のみなさんからご意見をいただくことができませんでしたが、今回はみなさんからメール等のご意見をいただきましたのでこの場でまとめたものをお配りいたします。みなさんからの意見をいただいて、可能であれば基本設計に取り入れたいと思っております。 田野倉副会長から展示物について下の方にある回る広場につきまして他館にはないものなのでなんとか残してほしいとのご意見やボールコースターは一番人気があるのでぜひ活用したいとのご意見をいただきました。展示物につきましては設計業者とも相談して残したいと思っておりますが、傷み方が激しいものがあるので修整してどれだけできるかやってみないとわからないところがあります。特にボールコースターはかなり難しいと思います。館としては、なんとか類似品を展示したいと考えています。 　また授乳室についてですが、現在は保健室で授乳していただいている状況で苦情は寄せられていませんが、ことがありませんが今の時代に相応しくないので工夫したいと考えています。他にも地下工作室につきましても使いやすいような工夫をしていきたいと考えております。また、運営体制に学芸員を入れてほしいとのご意見もいただきましたが、直営で館の管理を進めていく予定なので今のところ難しいと思っています。 藤岡委員から目標は「宇宙・地球・生命」にすべき、学芸員をおかないといい内容のものはできないとのご意見をいた

	だいていますが運営体制については急激な変更というのは考えていません。宇宙につきましてはプラネタリウムもありますし、地球につきましては映像（ダジックアース）で展示できるようなことを考えています。グローカルについては基本計画には入っていませんが、これからを考えていく上でとてもいいキーワードをいただきましたのでぜひ参考にさせていただきたいと思います。吉田委員からは実物を大事にしてほしいというお話をいただいていますし、市民協働についても、学校や生涯学習とも連携を図っていきたいと思います。ネットワークにつきましてはファミリー層も大事にしながら運営していきたいと考えております。小学校高学年から中学生に来館してもらうというのはなかなか厳しいですし、ボランティア活動につきましても弱い分野なので取り組むべき課題のひとつとさせていただきます。以上いただいた意見で反映できるものは反映させていきたいと考えています。ご意見ありがとうございました 小野会長　他にありますか。 中村主査　12～2 月の郷土資料館の関連事業につきまして説明します。2 月 16 日～3 月 27 日まで特別展「八王子の指定文化財」を実施します。また 11 月 1 日～12 月 6 日まで開催しました企画展「八王子の鉄道」の開催に伴い再販しました図録を皆さんに配布しております。 小野会長　では他にありませんか。ないようでしたら平成 27 年度第 3 回八王子市博物館協議会会議を終了いたします。どうも有難うございました。